



2021年の夏（7月～9月）の気温は広範囲で平年並みか平年よりやや高く、全国的に暑い夏になると予測されているようです。暑さ対策、コロナ対策をしっかりとしつつ、短い夏をできるだけ楽しく過ごしたいものですね。子育て支援センターでは、子ども達が安全に思いきり遊べるよう、お部屋を快適にしてお待ちしています。保護者の方もしばしホッと一息を。。是非遊びにきてください。

子育て支援教室（予告）

『牛乳パックで椅子を作ろう！（仮）』を計画中
牛乳パックを使って、子ども用の椅子を作ってみませんか。子育て支援センターでは、ただいま準備中。秋頃にこの教室を開催したいと考えています。日程等決定しだい、改めてお知らせします。どうぞお楽しみに・・・

8月の行事予定

25日（水）わたっこ Baby 広場

10:30～11:30

育児相談（予約制）

11:30～12:00

※8月の「わたっこ Baby 広場」は保健センターでの開催となります。お間違えのないよう、お願いします。



防災シリーズ④

『«トイレ»と«防災» その2』トイレの備えは究極の自助？

行政などは、避難所などでどのような備えをしているのでしょうか？

【仮設トイレについて】

災害が起きて体育館などが避難所になると仮設トイレが置かれて、被災された方が列を作るという光景を目にしたことがある方もいらっしゃるかと思います。仮設トイレは入りづらいというイメージありませんか？

10年前の東日本大震災でも多くの仮設トイレが設置されました。そのほとんどが和式で、お年寄りや障害のある人からは、使いにくいという声があがったそうです。そして、トイレに行くのを控えるあまり、体調を崩したという方もいたそうです。

こうした反省から、国は災害時のトイレ環境の改善を図ってきました。具体的には、工事現場のトイレをよくすることから始めているのだそうです。それは、仮設トイレは工事現場に置かれることが多い。そして、そうしたトイレの在庫が災害時避難所に届けられるということが多いためです。ということは、工事現場で使われる仮設トイレの質を高めれば、避難所にも質の高い仮設トイレが行き渡るようになる、ということです。

最近では、仮設トイレが変わってきているということですが、どう変わってきているか、というと和式から洋式に変わってきており、手を洗うための洗面台がついていたり、感染防止にもつながる除菌ジェルを備えたものも出てきている。さらに女性が利用しやすいように壁がきれいな色だったり、鏡や着替えをするための台がついていたりする仮設トイレも出てきている。さらに昨年の7月、九州地方を襲った豪雨災害では、熊本県人吉市の避難所に室内が広くて車椅子の方でも入れるタイプの仮設トイレが初めて設置されました。被災者の方にも好評だったということです。

車椅子の方が入りやすいという事は、広いだけでなく、床が平らになっているので、お年寄りの方も使いやすい。避難所は、なかなかプライバシー空間が確保されにくいということがありますが、このトイレは、広々としてい



るので、入るとつかの間ホッとできる、という声も寄せられたそうです。

東京で展示会があり、行った人の感想ですが、天井も高くして周囲の壁との距離も十分あるので、圧迫感がなく、リラックスして用を足せるという風を感じたそうです。

さらに、近年自治体でトイレトレーラー（災害用移動式トイレ）を導入する動きも盛んであり、これは洋式の水洗トイレを車で引っ張って行って、被災地にそのまま設置することができる、というもの。駅などにある公共のトイレと遜色ない作りになっていて、便器も陶器でできているし、冷暖房も完備されている。3年前の北海道胆振東部地震やおととしの台風19号の被災地でも使われた実績があるそうです。

そして、おととしの台風15号で被害を受けた千葉県君津市でも、クラウドファンディングで集めた資金などでトイレトレーラーを購入したそうです。被災した際に、君津市には、静岡県や愛知県の自治体からトイレトレーラーが派遣されて、それが被災者に好評だったので、導入を決めたということです。

このようにトイレトレーラーは、各地の被災地に出張していけるというのが強みということです。今後大きな災害が発生したときには、全国の自治体が連携してトレーラーを送って被災地のトイレ不足を解消しようという取り組みも計画されているということです。

そういう物が着くまでには時間がかかるので、個人の備えは必要ということになる訳です。

東日本大震災から10年、この機会に改めて携帯トイレなどご家庭のトイレの備えを見直したらどうか、ということ。

インドで確認された新型コロナウイルスの変異ウイルスについて

参考にしてください。



WHO（世界保健機関）では、イギリスで最初に見つかった変異ウイルスと南アフリカで見つかった変異ウイルス、それにブラジルで広がった変異ウイルスの3つのウイルスを懸念すべき変異株に指定しています。

インドで報告されているのは、これらとは別の変異ウイルスでインドで今年4月頃に爆発的に感染が拡大した原因の1つと考えられていて、WHOは注目すべき変異株と位置づけています。WHOによるとL452RやP681R、E484Qの3つの特徴的な変異のうち、3つかE484Qを除く2つを併せ持っている、としています。

これらの変異は、感染しやすくなったり、免疫の効果が低下したりする可能性があるということですが、詳しい性質についてはわかっておらず、研究がすすめられています。

新型コロナウイルスでは、2つ以上の変異が同時におこるのはめずらしいことではなく、感染力などの性質にどの程度影響のある変異かどうか問題となるそうです。たとえば、関西を中心に日本でも広がっているイギリスで最初に確認された変異ウイルスは、スパイクタンパク質（コロナウイルスのトゲトゲの部分）に主な物だけでも5つ以上の変異があり、このうち感染力を高めるとされるN501Yに加えて、免疫の効果が低下する可能性があるE484Kの変異も起こっていて、インドで見つかった変異ウイルスと同様に問題となる2つの変異を併せ持つウイルスとなっている、ということです。みなさん、引き続き感染予防対策、頑張りましょう。

元気なわたっこ（度会町の子ども）たち

♡あれ？ミルク出ないよ…
（それ、ぼぼちゃんのだよ）

♡「わたしあっち向いとろ、恥ずかしいよ」おばあちゃんです。

♡うんしょ、うんしょ。
雲梯の名人 すごい！

♡ぼく、食べる事大好き！
これもパクっ。。



☆子育て相談を行っています☆ 電話番号：63-0070 【秘密厳守】